TPDS NEWS

※ TPDS = Tokyo Plastic Dental Society = （一社）東京形成歯科研究会

Vol.2　配信日：2019 年 7 月 8 日　配信元：（一社）東京形成歯科研究会　事務局

東京形成歯科研究会の

海外活動のいざなぎ

11 月の PRP シンポジュームの参加に当たり、思い深い事があります。1989 年ごろ R MARX の PRP 臨床応用について将来大きな可能性があると直関して ICOI の仕事に絡んで MARX とコンタクトを取りあい、今回の ARN GARG 共々連携を取り合ってきました。その中で日本においての PRP 研究は当時広島大　九州歯科大学の細川隆司先生や同じ MARX からの影響で一時明海の嶋田淳教授らがいた、多くの大学では動きが無く尽かさず神奈川歯科大学の口腔外科の教授のち学長久保田英朗先生を引っ張り出して MARX の第一回シンポジュウムに招待をさせていただきました。また ISBB 立ち上がりの際に当時と東京理科大学で歯牙の再生を手がけた斎藤正寛先生を PRP の将来を期待して国際学会に招待をさせていただきました。

また今回神奈川歯科大学にインプラント学教授赴任された先生のドイツ学会に招待をさせていただいた経緯があります。また基礎系でフランスの Dr. Joseph Choukroun 主催の PRP 関連学会にもお手伝いさせていただいた教授もいます。日本を代表する大学においても PRP の事で何度も環境づくりをさせてもらいました。衛生学の研究者もいます。韓国・台湾の国際学会に多くの人材を派遣しました。その他にも関係者はいますが、私としては臨床におけるイノベーション医学の発展のための支援として個人的負担をもって行ってきました。一開業医ではとてもやり切れることではありませんが、歯科医学発展に成ればと言う思いでした。その効果もありましたが、再生医療等安全性確保法にて PRP が第 3 種再生医療に適用となったことは、ある面では評

価された事と自負はあります。当会は単なる情報展開ではなく強力な川瀬知之先生の力を得て研究論文や教書的な著書を出すことが出来ました。しかし、今まで絡んできた数多くの教授らは、今注目されている PRP にはどういうわけか見向きもしていません。それどころか再生学のスキルには PRP のレベルではないと豪語をしていた仙台の旧国立大学に赴任した教授にはいきどうりを隠しえませんでした。その後 PRP がもてはやされてきた次元で態度を変えて PRP の話をしているのには、空いた口がふさがらなかった。多くの逸材や学会が認識していないことに苛立ちを隠せません。

その中で最近私の理念や身上と極めて近い臨床系の大学教授と劇的な出会いと関係を持つ機会にめぐりあいました。私としては PRP 関連物質の基礎研究は進んだものの、臨床研究が進まないことに対して救世主とも思われる先生です。巷ではとある企業がインプラント会社の組織を通じてうまく歯科界にもぐりこみ相当の利益を与えております。しかしそのコマ-シャル DR も面に向かって学会などに出て来ておらず、普及が正攻法となりきっておりません。しかし展開力はそれなりの説得力があります。その原点を聞いたところによると岡山大学研究生時代に指導を受けていた村田勝先生そのものでした。現在北大から北海道医療大学の口腔外科の教授となり再生臨床においては私どもも研修でも来ていただいて話したとうりです。そういう訳で現在情報が乏しい臨床の研鑽に共に LAS VEGAS に同行する予定です。この分野において強力な大学人ですので人間的にも大いに期待が持てます。

再度 LAS VEGAS シンポジューム参加のご検討を願います。この時期の渡米は大変厳しいことですが最低日数 3 泊 5 日で帰国できます。でもこの際ですからもう 2 泊で紹介できる大学や都市もあります。

一般社団法人東京形成歯科研究会　施設長　　奥寺　元

配信元　（一社）東京形成歯科研究会　事務局　　〒114 - 0002 東京都北区王子 2 - 26 - 2　ウェルネスオクデラビルズ 3F　オクデラメディカル内
TEL：03 - 3919 - 5111　／　FAX：03 - 3919 - 5114　／　E - mail：okudera@carrot.ocn.ne.jp